

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール 間伐実践・環境教育部門
 間伐推進中央協議会会長賞
株式会社那賀ウッド

取組の名称	木製ボードで山と川と海、街と地域と人をつなぐ！ サーフィン・サップボード体験で山川海の世界学習	
取組の概要	杉のサーフボード・サップボードを用いて山・川・海などの自然環境に親しむ体験イベント。木材の良さや川や海などの美しい自然環境を感じてもらおう。木づかいによる森林環境の整備が美しい川や海に繋がっていることの学習・体験を通じて森林・山間地の国土保全機能などの理解や地元愛の醸成を目指している。	
取組のきっかけ	山で暮らしながら海でサーフィンを楽しむ製作者の立場からも、美しい海があるのは上流の山、川があつてことという想いがあり、美しい自然をずっと残していくためにも海と上流の川や山とのつながりをもっと知ってほしいという思いから、環境保全にもつながるウッドボードの体験イベント・環境学習会に取り組む。	
取組内容・特徴	木づかい推進や木育活動を行う徳島県内の林業・木材関係の若手からなる団体「Wood Action Tokushima」としても活動。林業の川上～川中～川下の各分野のスペシャリストと行政や教育機関とも連携したイベント・教育活動を実施しており、多様な視点から間伐の効果啓蒙や山林環境教育を行い、ノウハウの蓄積を図っている。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	徳島県那賀町役場、那賀町那賀町地域おこし協力隊、株式会社フォレストバンク、Wood Action Tokushima などの連携により体験イベントを実施。SUP インストラクターなど専門の人員を配置、安全装具の着用など十分対策してイベントを開催している。	
実績	除間伐実績	自社としての間伐業実施は無いが、上記連携先などの間伐支援・イベント参加など対応。 (出資者である木頭森林組合は素材生産事業を実施)
	環境教育	ウッドボード体験は子供～大人を対象に年間 その他、子供～学生を中心に森林環境教育・木育活動などを年10回程度実施(別添参照)
取組による効果等	山林だけは豊富にあるもののどうせ杉は使い道がないと閉塞感もある過疎の町の中、多様な木製品のPRにより地元の子供たちからも「那賀町の杉や技術が都会でかこよく使われるなんて嬉しい」「那賀町は海には面してないが下流の川や海を支えているので誇らしく感じる」「何でもできる木ってすごい」という声が聞こえるようになるなど、木づかい・環境・防災教育活動等により地域の意識も少しずつ変わり始めている。	
製品等の写真、図表		
	木の性質や環境を学びながら体験	ウッドボード体験会の様子
連絡先等	(住 所) 〒771-5408 徳島県那賀郡那賀町吉野字弥八かへ1番 (担当部署等) 企画管理部 (電話番号等) TEL : 0884-62-1163 FAX : 0884-62-1164 (URL) http://www.nakawood.co.jp	

評価コメント	<ul style="list-style-type: none">○ サーフボードというアイテムにしたことで、発信力、注目度をもたらしている点。環境教育として効果的。○ 森里川海のつながりの大切さから間伐の必要性を説いているところを評価。楽しみながら学べる工夫もすばらしい。○ 山と海を結ぶサーフィンボード
--------	--